

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号	0106		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	創造工学科 (情報コース)		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	前期:2			
教科書/教材	NEO現代を見る (桐原書店) TOEIC L&Rテスト (桐原書店)						
担当教員	長谷川 佐知子						
到達目標							
現代においてコミュニケーションツールとしての英語は必須である。総合的な英語の技能 (読む、書く、聞く、話す) を身につけ、将来専門分野での研究や、社会で必要とされる基本的な能力を身につけることをめざす。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	科学分野に関する論文を読み内容を理解できる。		科学分野に関する簡単な文章を読みだいたい理解できる。		科学分野に関する簡単な文章の内容が理解できない		
評価項目2	科学分野に関する簡単な文を聞き内容を正確に理解できる。		科学分野に関する簡単な文を聞きだいたい理解できる。		科学分野に関する簡単な文を聞き理解できない。		
評価項目3	自分の研究の概要を英語で記述できる。		自分の研究の概要を英語で記述できる。		自分の研究の概要を英語で記述できない。		
学科の到達目標項目との関係							
(F) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションの基礎能力を身につける。							
教育方法等							
概要	現代においてコミュニケーションツールとしての英語は必須である。総合的な英語の技能 (読む、書く、話す) を身につけ、将来、専門分野での研究や、社会で必要とされる基本的な能力を身につけることを目指す。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として演習問題やレポートを実施します。						
授業の進め方・方法	学生はテキストの予習をして、授業に出席すること。授業の進め方はテキスト通りである。中間試験は40%、期末試験は40%、平常点は20%で達成度を総合的に評価し、60%以上を合格とする。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	unit 1 History ・レストラン		Day1 買い物	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		2週	unit 2 Britain ・通勤		Day 2 交通	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		3週	unit 3 Food ターネット・Eメール		Day 3 イン	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		4週	unit 4 Clothing 予報		Day 4 天気	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		5週	unit 5 Japanese Culture ・空港		Day 5 出張	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		6週	unit 6 Culture ・金融		Day 6 銀行	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		7週	中間テスト				
		8週	unit 7 Language		Day 7 会社	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
	2ndQ	9週	unit 8 Translation イス・事務用品		Day 8 オフ	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		10週	unit 9 American Society ・プレゼン		Day 9 会議	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		11週	unit 10 Urban 務		Day 10 日常業	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		12週	unit 11 Tendency 用・面接		Day 11 採	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		13週	unit 12 Health		Day 12 人事	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		14週	unit 13 Human Body 職		Day 13 役	語句を覚えてから、実際の問題形式で使うことができる。	
		15週	期末テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	宿題・発表等	相互評価	態度・課題	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	20	0	0	100
基礎的能力	30	10	0	20	0	0	60

專門的能力	30	10	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0